

南原中だより

米沢市立南原中学校

学校通信

2018. 1. 21

いろいろな方から教えを乞うことで…

～ たくさんの知識をただ何も考えずに学ぶよりも、
心に響く言葉ひとつのほうで自分を変えることもある ～

1月15・17日には、世界的なピアニストである福田直樹さんをお招きして、ショパンやモーツァルト、バッハ、ベートーベンなど、世界的に有名な音楽家について、各学年ごとに音楽の授業をしていただきました。最初は福田さんの演奏するピアノ曲を、何曲も聴けるのかな？と思っていましたが、実際はそうではなく、それぞれの音楽家が生きた時代背景や、音楽家そのものの



の生き方などについて詳しく教えていただき、普段の授業ではなかなか聞くことができないことまで、掘り下げて教えていただきました。そして何とんでも「百聞は一見にしかず」の通りその演奏のすばらしさに圧倒され、生徒にとっても先生方にとっても貴重な時間を過ごすことができました。



また、1月18・21日には、一年生の理科の授業の外部講師として、米沢工業高校建設環境類の後藤武志先生に来ていただき、「地震と防災」について授業をしていただきました。米沢盆地にも断層が走っており、実は南原中学校のすぐ近くにも断層があることや、米沢盆地は4000年前には置賜湖の湖底にあったことなども詳しく知ることができました。そして、最後は「自分の身を守ることが一番大切であり、その上で助けることができる他人を助けなければならない」という、災害遭遇時の基本を熱く語っていただきました。

どちらの授業も、「心に響く音」「心に響く言葉」「心に響く教え」が満載で、いろいろな方から教えを乞うことで、それまではあまり気付かなかった『ものの見方や考え方』を感じることができたと思います。

福田直樹さん、後藤武志先生、貴重な授業をしていただき、本当にありがとうございました。

福田直樹さん、後藤武志先生、貴重な授業をしていただき、本当にありがとうございました。